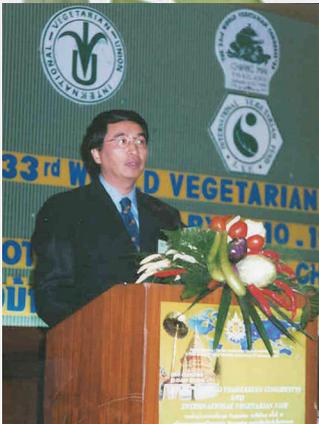


今日は、ベジ気分!

ベジタリアンと大豆は切っても切れない間柄。
少し、ベジな生活をのぞいてみませんか?

今回は、22年の歴史を持つNPO法人日本ベジタリアン協会の代表・垣本充さんと、協会の活動、オールジャパンでベジタリアンを表彰する「日本ベジタリアン・アワード」の舞台裏を、みわあきこがご紹介します。



IVU世界会議(タイ・チェンマイ)で招待講演



2013年の来日の際、ミートフリー・マンデーの社会的貢献により、協会賞を贈った



今日のベジーさん

かきもと みつる
垣本 充さん

～NPO法人日本ベジタリアン協会 代表～

大阪府立大学大学院修士、歯学博士。三育学院大学特命教授。大阪府出身。

1988年にミネソタ大学での国際会議での研究発表のために博士論文をまとめている時、海外の学会誌を精読していたら、毎月のようにベジタリアンに関する研究論が発表されていて、菜食に興味を持つようになったそうです。

その後、ベジタリアニズムは単に健康だけではなく、環境問題、食料問題、アニマルライツなどにもかかわる奥の深いものだと知り、ベジタリアンの食生活へ変更していき、またそれをライフワークにしてみようと思ったそうです。

1992年に著書『ヘルシー・ベジタリアン入門』(リオン社)を執筆。読者の要望により、翌年4月に現在のNPO日本ベジタリアン協会の元となる、大阪ベジタリアン協会を設立。主著『21世紀のライフスタイル・VEGETARIAN-ism』(フードジャーナル社)のほか、歯科医学、小児歯科学雑誌、栄養学雑誌、環境情報科学など学会誌に論文を多数執筆されています。



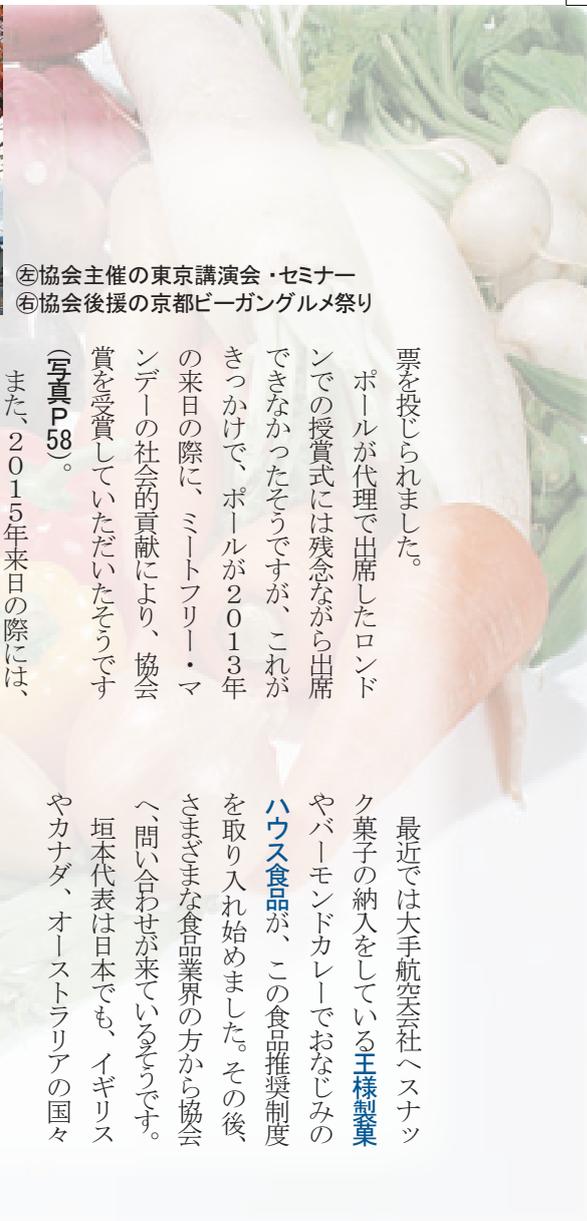
●ポール・マッカートニーとのつながり●

協会設立の翌年1994年には、100年の歴史を持つ国際的なベジタリアン統括機関、International Vegetarian Union (IVU) 国際ベジタリアン連合) に加入し、1996年にアメリカの世界会議で理事に選出されたそうです。その後、8年間にわたり、学術理事(リサーチコ

ーディネーター)として勤められました。

ポール・マッカートニーとのつながりを持たれたのはこの頃。1999年、招待講演を行うために出席したタイ・チェンマイでのIVU世界会議(写真上)で、IVUがベジタリアニズム啓発に貢献した人を讃える「マンカー賞」を前年に亡くなったリンダに授与することに決定し、その際、審査委員であった垣本さんはリンダに

㊤協会主催の東京講演会・セミナー
㊦協会後援の京都ビーガングルメ祭り



票を投じられました。

ポールが代理で出席したロンドンでの授賞式には残念ながら出席できなかったそうですが、これがきっかけで、ポールが2013年の来日の際に、ミートフリー・マNDERの社会的貢献により、協会賞を受賞していただいたそうです(写真P58)。

また、2015年来日の際には、ポールが大阪や東京のコンサートの際、ドーム前でベジタリアンの広報活動をしていた垣本さんやその他のボランティアスタッフが全員を公演に招待したそうです。長年活動を続けてきたご褒美をポールからもらったように感じ、これからの活動のパワーをいただきたいような気持ちになったそうです。

●ベジタリアン食材の推奨マーク

東京オリンピックを5年後に控え、ベジタリアンへの注目が高まりつつあるようです。日本ベジタリアン協会では、消費者が正確な情報の伝達と安心安全なベジタリアン食品選択の一助になるよう、食品推奨マークを制定しています。

最近では大手航空会社へスナック菓子の納入をしている**王様製菓**やバーモンドカレーでおなじみの**ハウス食品**が、この食品推奨制度を取り入れ始めました。その後、さまざまな食品業界の方から協会へ、問い合わせが来ているそうです。垣本代表は日本でも、イギリスやカナダ、オーストラリアの国々

●オールジャパンでベジタリアンにエール！ 「日本ベジタリアン・アワード」

日本ベジタリアン・アワードは、「ベジタリアン・ライフを楽しめるコンテンツなどを発信している人物や企業、団体に授与したい」という、名古屋・京都ビーガングルメ祭り代表の**吉田光佳さん**が発案されたものです。

垣本代表がこの日本ベジタリアン・アワードのことを知ったのは、**フード・ジャーナル2015年9月号P52**で私が取材をした吉田さんのインタビューの記事だったそうです。その後、吉田さんから「主催で

のようにベジタリアン向けの多様な食品が生産販売され、この認証マークが消費者に安心して食品を選ぶ際の目印になるように目指していきたいとお考えです。これから国際化が進み、さらに食の選択肢が求められるようになれば、ますますベジタリアンへの関心が高まるのではないかと思います。

やってくれませんか？」とおファーがあったのだとか。

吉田さんの、「地球にもやさしいベジタリアンのライフスタイルを広めたい！」「ベジタリアンの活動をしている方にエールを送りたい！」という考えに共感をし、一緒に開催へ向けて活動することにされました。現在、吉田さんをはじめ審査委員の皆さまと定期的なミーティングを重ね、着々と準備を進めています。

日本ベジタリアンアワードの打ち合わせ風景



垣本代表は、学術的な日本ベジタリアン学会、市民団体を



<協会事務局>
〒532-0003
大阪市淀川区
宮原 1-19-23-410
☎06-6868-9860
<http://www.jpvs.org>

NPO法人日本ベジタリアン協会
みわ あきこ(理事)

を後援している日本ベジタリアン協会、実際に大きな市民イベントを開催する、東京・名古屋・京都ビーガングルメ祭り事務局が協力して行うからこそ、このようなオールジャパンのベジタリアン・アワードを開催することができるとはならないとお考えです。このアワードが、全国のベジタリアンが集まる機会、交流する貴重な時間となり、今後のベジタリアンニズムの啓発に大きな役割を果たすのではないかと大いに期待されています。

読者の皆様もよろしければ、日本のベジタリアンの歴史の一ページとなるこの授賞式(2月7日・18時30分)／於・名古屋市、久屋大通庭園フラリエ)に、ぜひご参加ください。